

令和7年度「学校・家庭・地域連携協働推進事業」で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定（目標値）

| 実施市町村名      | 課題の類型1    | 課題の類型2           | 背景・現状・課題の詳細                                                    | これまでの取組状況                                                                                               | 左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組                                                                  | 本事業で達成する目標（アウトカム）                                  | 目標の達成度を測る指標                 | 現状の数 | 単位 | 本年度の目標値 | 本年度の実績値 | アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等） |
|-------------|-----------|------------------|----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|-----------------------------|------|----|---------|---------|--------------------------------------|
| 063649_真室川町 | ①学校運営上の課題 | 教職員の時間外勤務の是正     | 町内の教員の13%超が、月45時間以上の時間外勤務を行っており、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。 | ・各小中学校への地域学校協働コーディネーター配置を継続する。<br>・校内での役割分担を精査し、校外との連絡調整をコーディネーターが中心的に担うことができる体制を構築する。                  | 地域学校協働コーディネーターを配置し、学校運営や教職員にも役割が浸透しつつあるが、学校ごとに役割の活用度合に差異があるため、理解度を均一にし、教職員全体の時間外勤務時間を縮減していく。 | 学校・家庭・地域の役割分担を明確化することで、地域との協働が推進され、教職員の業務負担が軽減される。 | 月平均45時間以上の時間外勤務を行う教員の割合     | 13.4 | %  | 12      |         |                                      |
| 063649_真室川町 | ②学校と地域の課題 | 学校支援ボランティアの確保・育成 | 各校の運営支援に携わっている地域ボランティアについて、高齢化や少子化に伴うPTAの減少等により確保、継続が難しくなっている。 | ・現状ご協力いただいている地域ボランティアの活動継続を図りながら、次世代の人材発掘を進めていく。<br>・学校ごとの名簿を共有するなど、学校区を越え、町全体の地域ボランティアとして活動できる環境を整備する。 | 学校運営協議会に地域の方が携わり、地域に開かれた学校づくりを行ってきた。学校行事に地域の資源を取り入れることにより、地域の方が参画しやすい体制づくりを構築していく。           | 減少しつつある地域ボランティアの人数確保と、それに伴う学校運営への支援体制を構築する。        | 各学校へご協力いただいた地域ボランティアの人数（累計） | 1176 | 人  | 1200    |         |                                      |
| 063649_真室川町 | ③学校と家庭の課題 | 読書習慣の定着・読書体験の充実  | デジタル環境の普及に伴い、児童生徒の読書習慣が減少している。                                 | ・各校に配置された地域学校協働コーディネーターを中心に、図書環境整備を充実させる。                                                               | 学校ごとに読み聞かせの時間を充実させ、読書への関心を深める活動を行う。また、図書の紹介や配置を工夫するなど、児童生徒に図書を身近に感じられる環境づくりを行う。              | 子どもたちが読書に興味・関心を持ちやすい環境を整備することで、日常的な読書習慣が身につく。      | 各校図書室における児童生徒一人あたりの年間図書貸出冊数 | 47   | 冊  | 80      |         |                                      |